

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	5 管理運営と施設支援
中項目	
小項目	5.0.1 管理運営
要素	「教育研究上の目的」の達成のために必要な管理運営事項を審議する教授会及び委員会等を設置し、審議事項を尊重し、教育研究環境を整備していく体制を講じているか。 設置形態及び規模に応じた管理運営の事務組織を整備しているか。 「教育研究上の目的」の達成のために、専任教員の教育研究活動に応じた規模と機能を持った管理運営組織を設けているか。
小項目	5.0.2 施設・設備
要素	教育効果の向上を図る教室、演習室及び実習室等の教育研究施設及び設備等の質的かつ量的な整備をしているか。 専任教員ごとに個別の研究室を用意しているか。 図書、学術雑誌及び視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集しているか。 教育研究組織及び教育課程に応じた施設及び設備を整備し有効に活用しているか。 学生の自主的な学習を促進する学習環境を十分に整備し、学生の利用に供しているか。

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. Have a multi-purpose room in Shared Facilities Building where students can have group works and discussions. 全学共用棟内にグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Organizing the multi-purpose room. 多目的室の整備状況	B	A	A	A	A
2. Improve the information systems, machines and equipment, libraries among others adapted for learning in English. (英語での教育環境を充実させるために、英語対応の情報設備・機器を整備する。)	→conduct an additional survey, or add to the current student evaluation such items as students satisfaction on the use of IBA library, PC, student assistance, other facilities. (学生の施設利用満足度調査の実施、または現在行われている学生調査に施設利用の満足度の項目を加える。)	D	C	C	B	B

☆

  

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 全学共用棟内に多目的室であるグループディスカッションルームを設置した。室内にはパソコン8台(うち2台は英語版PC)とプリンター2台を設置している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か グループディスカッションルームでは、グループディスカッションや自主学習が盛んにおこなわれている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 有効に活用されているため、これを維持する。	☆
		その他	☆

目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学生システムのリプレースにより、2013年度秋学期から履修登録画面が英語で表示されるようになった。授業評価アンケートの一環で、毎年学生インタビューを行っており、施設の満足度についても確認している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 英語対応が進み、英語話者の理解が向上した。昨年行った学生インタビューの結果、施設・設備に対する意見は出なかったため、満足度は高いものと判断している。しかしながら、西宮上ヶ原キャンパスと大阪梅田キャンパスでの学生対応の差などが指摘されている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も英語対応されていないものがあれば、日英併記にするなどの対応をする。西宮上ヶ原キャンパスと大阪梅田キャンパスで学生対応に差が出ないように、情報共有を徹底する必要がある。	☆
		その他	☆
備考			☆